【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【公開番号】特開2007-169375(P2007-169375A)
【公開日】平成19年7月5日(2007.7.5)
【年通号数】公開・登録公報2007-025
【出願番号】特願2005-366290(P2005-366290)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｇ　77/16　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/768　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　23/522　(2006.01)
Ｃ０７Ｆ　 7/18　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　21/312　(2006.01)
Ｃ０８Ｇ　77/06　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｇ　77/16
Ｈ０１Ｌ　21/90　Ｓ
Ｃ０７Ｆ　 7/18　Ｙ
Ｈ０１Ｌ　21/312　Ｃ
Ｃ０８Ｇ　77/06

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月12日(2008.12.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
得られたポリフェニルシルセスキオキサンのゲルパーミエーションクロマトグラフィーによるポリスチレン換算の重量平均分子量（ＭＷ）は１，２９０であり、分子量分布（ＭＷ／ＭＮ）１．３２であった。また、^{29}ＳｉＮＭＲにより、３つの酸素原子と結合したケイ素原子（以下「$Ph T^3$」と略す）の領域：－７６ｐｐｍ～－８２ｐｐｍ、２つの酸素原子と１つの水酸基が結合したケイ素原子（以下「$Ph T^2$」と略す）の領域：－６６ｐｐｍ～－７２ｐｐｍ、１つの酸素原子と２つの水酸基が結合したケイ素原子（以下「$Ph T^1$」と略す）の領域：－５８ｐｐｍ～－６２ｐｐｍにシグナルが観測された。それぞれのシグナルの積分値から、$Ph T^3$：$Ph T^2$：$Ph T^1$が５３．４ｍｏｌ％：４６．１ｍｏｌ％：０．５ｍｏｌ％で構成されるシラノール基を有するポリフェニルシルセスキオキサンであった。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
得られたポリフェニルシルセスキオキサンのゲルパーミエーションクロマトグラフィーによるポリスチレン換算の重量平均分子量（ＭＷ）は６，６９０であり、分子量分布（ＭＷ／ＭＮ）１．７７であった。また、^{29}ＳｉＮＭＲで$Ph T^3$領域と$Ph T^2$領域にシグナルが観察され、$Ph T^1$領域のシグナルは観測されなかった。それぞれの積分値から、

得られたポリフェニルシルセスキオキサンは$^{Ph}T^{3}$：$^{Ph}T^{2}$：$^{Ph}T^{1}$が８５．４ｍｏｌ％：１４．６ｍｏｌ％：０．０ｍｏｌ％で構成されたポリフェニルシルセスキオキサンであった。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
得られたポリフェニルシルセスキオキサンのゲルパーミエーションクロマトグラフィーによるポリスチレン換算の重量平均分子量（ＭＷ）は５，０９０であり、分子量分布（ＭＷ／ＭＮ）１．５７であった。また、^{29}ＳｉＮＭＲで$^{Ph}T^{3}$領域と$^{Ph}T^{2}$領域にシグナルが観察され、$^{Ph}T^{1}$領域のシグナルは観測されなかった。それぞれの積分値から、得られたポリフェニルシルセスキオキサンは、$^{Ph}T^{3}$：$^{Ph}T^{2}$：$^{Ph}T^{1}$が９２．４ｍｏｌ％：７．６ｍｏｌ％：０．０ｍｏｌ％で構成されたポリフェニルシルセスキオキサンであった。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
得られたポリフェニルシルセスキオキサンのゲルパーミエーションクロマトグラフィーによるポリスチレン換算の重量平均分子量（ＭＷ）は８，８９０であり、分子量分布（ＭＷ／ＭＮ）１．４７であった。また、^{29}ＳｉＮＭＲで$^{Ph}T^{3}$領域にシグナルが観察され、$^{Ph}T^{2}$領域と$^{Ph}T^{1}$領域のシグナルは観測されず、縮合は完結していた。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
得られたポリフェニルシルセスキオキサンのゲルパーミエーションクロマトグラフィーによるポリスチレン換算の重量平均分子量（ＭＷ）は１８０，０００であり、分子量分布（ＭＷ／ＭＮ）２．５２であった。また、^{29}ＳｉＮＭＲで$^{Ph}T^{3}$領域にシグナルが観察され、$^{Ph}T^{2}$領域と$^{Ph}T^{1}$領域のシグナルは観測されず、縮合は完結していた。